

ナラ枯れ 岩手県に 迫る！

1 はじめに

通称「ナラ枯れ」は「カシノナガキクイムシ」(媒介昆虫)が樹木内に持ち込む「ナラ菌」(病原体)によって、主にナラ類が枯れる樹木の病気です。

これまで、日本海側の府県を中心に被害が拡大して来ましたが、

ところが、平成21年9月、宮城県(大崎市鳴子)で初の「ナラ枯れ」被害が確認されました。

奥羽山脈(脊梁山脈)を突き抜け、太平洋側に被害が拡大したことは、岩手県への被害拡大がにわかに現実味を帯びてきたことを意味します。

2 予測を超えた被害拡大

平成21年9月に被害が確認された鳴子峠周辺では、数年前から山形県からの被害拡大が懸念され、山形県側では懸命の防除、宮城県でも被害侵入の監視が続けていました。

しかし、その後の広域での調査の結果、被害は、鳴子峠周辺にとどまらず、奥羽山脈の広い範囲に及んでいることが明らかとなりました。(図1)

また、同じ年、秋田県では、前年まで山形県境付近にとどまっていた被害が、一挙に秋田市周辺まで拡大しました。

筆者も、両県からの情報を受け、予測を遥かに超えた被害の拡大に、言葉を失ったことを記憶しています。

3 ナラ枯れの特徴

(1)カシノナガキクイムシ(写真1) 体長5mm程のキクイムシの仲間です、つがいとなった後、共同で樹木の幹に孔道を作り、その中で繁殖します。

この時、雌は、樹木の組織を枯らす「ナラ菌」と自分たちや幼虫の餌となる「酵母菌」を孔道内で繁殖させます。

1本の木に数百のつがいが集中

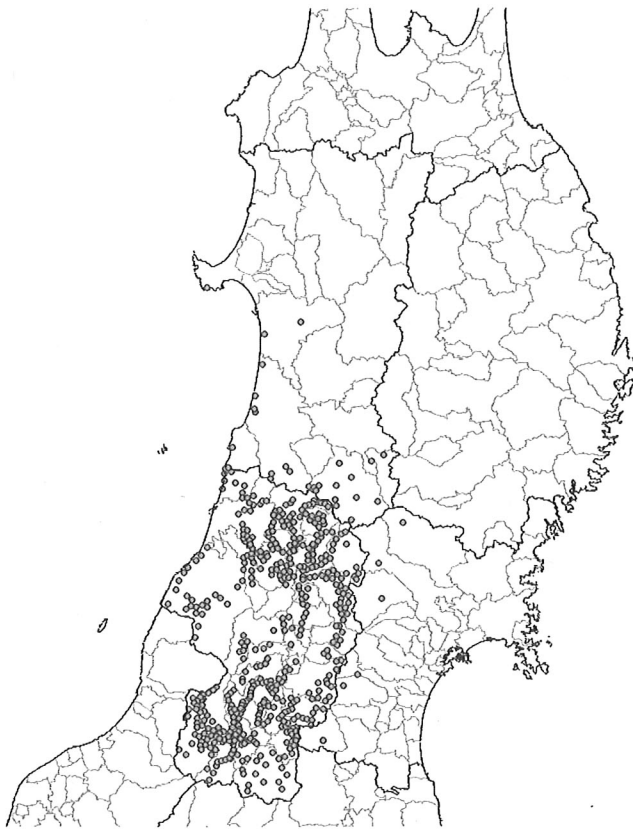


図1 平成21年のナラ枯れ被害状況

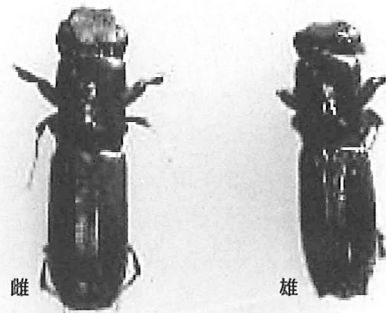


写真1 カシノナガキクイムシ

的に穿入し、ナラ菌を蔓延させることでナラ類が枯死します。

(2)被害を受ける樹種と森林

様々なブナ科樹木に穿孔するところが知られていますが、主にナラ類が枯死します。(ブナは枯れない) 岩手県の自生種では、ミズナラ、コナラ、クリ、クヌギの4種が該当します。

他の被害府県の記録を見ると、被害の初期発生は、標高400〜600mの範囲のミズナラ林に多く、その後、周辺地域に拡大しています。

また、カシノナガキクイムシは、明るい林を好みます。

被害地域周辺での、広葉樹林の下層の刈払いや間伐は、危険要因

の増大につながります。

(3)被害木(枯死木)の特徴

8月上旬以降、葉が枯れ始めます。さらに、木の根元には、たくさんの木くずと、幹には直径2ミ程度丸い穴(穿入孔)が多数見られます。

(4)他の虫害との区別(写真2)

平成20年から、岩手県内陸の平野部で、カイガラムシによるナラ類の被害が発生しています。

8月上旬以降に葉枯れが始まることから「ナラ枯れ」と混同する可能性があります。カイガラムシ被害では、根元の木くずや幹の穿入孔が見られないこと、枝等に非常に小さなカイガラムシが付着していることで区別します。

4 岩手県への侵入の可能性

「ナラ枯れ」は岩手県にも拡大するのでしょうか。

平成21年の宮城・秋田両県の被害拡大により、その可能性が高まったと言えます。

昨年、被害発生が確認されている宮城県栗原市から一関市への経路、同様に昨年被害発生が確認されている秋田県の東成瀬村から横手市、西和賀町に拡大する2つの経路が考えられます。



写真2 根元の木くずと穿入孔

このほか、被害材の人為移動や、昨年、秋田・宮城両県で見られた広域での被害拡大等、予測を超えた被害拡大の危険性も考慮する必要があります。

5 被害の早期発見

岩手県への拡大を防ぐには、被害をできるだけ早期に発見する必要があります。小規模な被害段階で被害木(感染源)を駆除することが、その後の展開を大きく左右します。

被害侵入の危険性のある地域では、前述した「被害木の特徴」を参考に、注意深く監視する必要があります。通常の監視は、地上(遠望・踏査)から行いますが、広域を効率的に監

視できる航空機(空中写真含む)の活用も有効です。

6 防除方法

これまでに様々な防除法が考案されており、岩手県に被害侵入した場合、複数の防除法を組み合わせるなど被害状況に応じた対応が必要となります。

(1)焼却

確実な方法ですが、被害木の搬出が容易な場所に限定されます。

(2)伐採・くん蒸

伐採した被害木をビニール被覆して、ガスくん蒸する方法で、高い駆除効果を得られます。

(3)被害木(立木)への薬剤注入

立木のまま、ドリルで穴を開け、殺虫剤を注入する方法です。

効率的な方法ですが寄生している全てのカシノナガキクイムシを駆除することはできません。

7 おわりに

広大な森林で初期被害を見つけるのは、容易な事ではありません。森林・林業関係機関はもとより、森林に立ち入る機会のある、多くの方々に協力していただく必要があります。

今回ご紹介した「ナラ枯れ」の疑

いのある被害を見つけましたら、林業技術センターや、最寄の広域振興局等の林務担当にお知らせいただきますようお願いいたします。

岩手県林業技術センター

研究部 小澤 洋一

所在地

矢中町煙山3-560-11

TEL

019(697)1536

FAX

019(697)1410